



## Palau 通信 Alii②

2021年12月①



Alii(こんにちは)、日本はもう寒くなっているとは思いますが、パラオは、常夏の国なので、日本人としては、12月という感じはあまり感じません。今回は、私が滞在しているガラスマオ州とガラスマオ小学校について触れていきます。

### ガラスマオ州 (Ngardmau)

ガラスマオは人口185人程度のとても小さな村です。村の人たち全員が何かしら血縁関係を持っています。私の勤務するガラスマオ小学校でも先生たちも全員親戚かあるいは家族であり、先生たちの子供もたくさん通っています。ガラスマオは日本が統治していた時代にボーキサイトを採掘し日本に送っていた歴史があり、今でもその当時使われていた建物跡が残っています。また、ガラスマオの滝がとても有名で観光客に人気のスポットになっています。



ガラスマオ州知事と記念撮影

### ガラスマオ小学校で勤務

小さな学校で全クラス合計では約30人程度しか生徒はいません。ちなみにパラオの小学校は8年生まであり、8年生での内容としては日本の中学2年生と同じような内容を学習しています。ガラスマオ小学校では基本的には算数と体育をメインに学校全体へ新しいことの導入や、個々の教員の授業へのアドバイスや補助をすることになっています。ただ、学校に来て2週間程度経ったところで一人の先生が退職し、先生が足りない状況なので、現在は小学2年生に対して算数と英語を教えています。体育は全体あるいは高学年を対象に授業に入っています。



ガラスマオ小学校

### 運動会の練習

体育の授業は、週に1回、90分授業で行われます。日本の体育の授業のように何をやるかが決まっているようなことはなく、基本的には、何かスポーツを授業内で低学年と高学年に分かれて行うというような感じで行われています。12月の学校最終日に毎年、保護者を呼んでいろいろなことをしているということだったので、今年は日本の運動会をやりたいと提案したところ受け入れてもらえました。運動会の練習を兼ねて体育ではいつもと違う色々な競技を練習し、生徒はとても楽しんでいる様子でした。次回、運動会の本番の様子をお伝えします。



運動会の練習の様子